



2022年3月1日発行
 公益財団法人とちぎYMCA
 〒320-0041
 宇都宮市松原 2-7-42
 Tel 028-624-2546
 Fax 028-624-2489
 www.tochigiymca.org
 発行人/塩澤 達俊
 編集人/公益財団法人とちぎYMCA

YMCA News

3



『 まると私 』

とちぎYMCA ユースボランティアリーダー
 中川 侑香 (まるリーダー)

表紙の写真から：2020年度新1年生チャレンジキャンプにて。

私が初めてYMCAの活動に参加したのは大学3年の夏だった。子どもたちと関わることは楽しかったし、これからもっと沢山の活動に参加したい!と意気込んでいたけど、実際は周りのリーダーの凄さにただただ圧倒されるだけだった。自分の中には無かった新しい考え方や子どもが楽しくなるような声かけ、関わり方は私にやる気を与えるよりも先に、自信のなさに繋がった。初めの頃は同い年のリーダーにさえ敬語を使っていて、周りからしたら“やりにくい奴”だったと思う。今振り返ると、自分への自信の無さから周りに壁を作ってしまったのかもしれない。この2年間程で、もう行きたくないと思ったことは何度もあった。他の人の良いところに嫉妬する自分が嫌になったこともある。だけどYMCAを辞めようとは思わなかった。それだけ私の中で大きな存在になっていたんだと思う。

きっと今の私は、あの頃のような“周りに壁を作ってしまう臆病な私”ではない。それは自信がついたとかではなくて、自分の居場所を見つけられたからだと思う。他のリーダーの凄いところを見て素直に凄い、私も頑張りたい、と思えるようになった。きっとそれは周りのみんなが私の良いところを認めてくれて、「まる」としての居場所を教えてくれたからだと思う。あるリーダーが「普段の自分とリーダーの時の自分は違う。活動ではリーダー名の時の自分になりきる。」と言っていたこ

とがあった。その時はすごく納得して、「まる」として理想の私に近づけるように頑張った。けど振り返ってみると、リーダーの「まる」のおかげで「私」が変わっていたのかもしれない。YMCAのおかげで普段の私のこともちょっとは好きになれたかな。

沢山の人と出会えて、沢山の考え方、価値観に触れたYMCAでの体験はすごく楽しかった。他の人と関わっていくことが楽しい、なんて昔の私が聞いたらきっと驚くと思う。それ程素敵で価値のある2年間だった。これから私は保育者になって、また新たな場所で子どもたちと関わっていく。YMCAが私に「まる」としての居場所をくれたように、私は子どもたちの居場所を作れるような先生になりたい。更に他の人と関わる楽しさも伝えていけたなら、子どもたちが周りの人と触れ合う楽しさに気づききっかけを作れるなら、とても素敵だなと思う。私自身を好きで居続けられるように、頑張ることを諦めない私で居たい。

「まると私」

リーダーの体験を綴った文集「リーダー冊子」より。

とちぎYMCAユースボランティアリーダー

中川 侑香(まるリーダー)



とちぎYMCAの使命。

～みつかる。つながる。よくなっていく。～

2021年度とちぎYMCA年間聖句

(創世記 第1章 第3節)

「神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。」



認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「 豆まき 」

2月3日、さくらんぼ幼稚園に赤鬼と青鬼がやってきました。この日は節分。朝から(中には鬼のお面を作り始めた1月末から)ドキドキワクワクな子どもたち「鬼が来たらやっつける」と勇ましい男の子。頼りになりそうです。



朝の会が終わると各クラス、机やブロックでバリケードを作り鬼の到着を今や遅しと待ち構えます。その頃、幼稚園にはどこからともなく吹風の音が・・・!臨場感たっぷりの中登場した鬼に顔をこわばらせながら豆をなげます。大きな声「鬼は外」と叫びたいところですが今年は小さな声で。勇ましい男の子、そして勇敢な女の子。みんなで心をついに鬼を撃退することができました。怖かった

鬼もさくらんぼ幼稚園を気に入ってくれたようで、山に帰る前にはブランコで遊んでいました。来年もお待ちしています。

翌、4日は立春。春はまだ遠そうな毎日ですが花壇のちゅうりっぷが芽を出し始めました。春はすぐそこまできていますね。

本澤 利香



宇都宮市子どもの家 ～宝木小子どもの家(チャイルドクラブ)～ 「 クラブで冬休みを過ごす子どもたち 」

チャイルドクラブでは、4クラスに分かれていて、旧館、新館の2つの建物に1年生～6年生の子どもたち146名が利用しています。人数が多いので、安全を考慮して外遊びは時間交代で行っています。宝木小学校は広い校庭に恵まれていて、子どもたちは

はのびのびとサッカーやドッジボール、鬼ごっこ、一輪車乗りなどをして、冬の冷たい風にも負けずに元気に過ごしています。

冬休みでは、手袋の壁面製作、昔遊び(けん玉、紙風船、だるま落とし、コマ回し、かるた)、好きな絵を書いてオリジナルキーホルダーの製作などを行いました。けん玉や紙風船で遊ぶのがとても上手な子もいました。Cブロック(戸祭・



宝木地区)の中で、子どもたちの人数が多いクラブではありますが、子どもたちの話を聴いて、子どもたちが譲り合ったり、相手の気持ちを考えられるように、子どもたちの成長を見守っていきたく思います。

主任支援員 渡辺 枝折



ようとう保育園

とちぎYMCA大会2021 テーマ

「 毎日が「お祭り」みたいなのに、日常がちゃんとあるようとう保育園の不思議 ～子どもとおとなが共に学び合う楽しさ～ 」



表題について皆で思いを出し合いました。日々の保育を振り返る時間が持てたことに感謝いたします。

乳児組の担当保育士より、やりたいことをとことんできる、一斉ではなく、子どもたちの気づきや興味を持ったことを携わるおとなと突き詰めていく、共にやる保育がようとう保育園の良さであるという意見がまとめられました。例えば、しゃぼん玉あそびでは液から作る、枠をつくる等、どうしたら長持ちするか、大きなしゃぼん玉ができるかを一緒に考えながら発見を喜びあったり、泥団子はただの団子ではなく、割れないためにはどうすればいいか?サラ粉はどのようなものがいいか?等、日々段階的にあそびこんだり、保育士も楽しみながら様々な素材に触れることで、幼児期に必要な興味を広げる土台作りを意識した活動を取り入れています。また、幼児組担当保育士より、以前の活動を振り返り保育士が常に新たなパフォーマンスを提供することを心掛け、子どもたちもおとなも主体となり全力で活動を楽しんでいる、今年度は月間のテーマを定めることでより充実した内容となったとの意見があがりました。

主任保育士は、その日の活動がクラスで盛り上がり終わりになってしまいがちだが乳児は乳児、幼児は幼児という区切りなく1つのテーマが始まるとあそびが伝染していく、持続する保育が素晴らしいし、ようとう保育園らしさなのではとまとめました。

「祭り」は集団儀礼の一つで日常から切り離された特別な時空に人々が集い、各種の儀礼行為を経験することによって潜在的に持つ理念を実感として共有する行動様式です。園に関わるすべての人が、理念を確信しているからこそ、日常の中でお祭りのようなエネルギー活動を通して、子どもとおとなが学び合う楽しさを実感し、保育に深みが増すのだと思います。

唐沢 奈緒



特別養護老人ホームマイホームきよはら 「 笑う門には福来る 」

まだまだ寒い日が続いていますが、マイホームきよはらでは節分が行われました。職員が鬼のお面をかぶりご利用者様一人ひとりの元へ行ってました。ご利用者様は豆をまいたり鬼から金棒を奪い、鬼退治をしていました。普段ではなかなか見られないくらい笑顔がみられる方や本気で鬼退治をされる方、「昔は歳の数だけ豆をたべていたけど、今は歳の数豆を食べたら日が暮れちゃう」と



冗談を交えながらお話しされ過ごされていきました。節分の話をしていると「次はひな祭りだね」と次の行事やイベントを考えている様子も見られました。またバレンタインデーもあり、ご利用者様とチョコバナナを作りました。バレンタインデーは好きな人にチョコを送る話をするご利用者様同士でチョコバナナを渡しあっている場面が見られました。思わず職員から笑みがこぼれました。施設の中

にいと季節を感じにくいとよく言われますが、季節によって様々な行事を行い、季節を感じていただき、ご利用者様の生きがいになるよう心がけております。新型コロナウイルスの影響でなかなか施設の中を見ていただくことは難しいですが、これからもマイホームきよはらのご利用者様の様子をお伝えしたいと思います。

宇都宮市青少年活動センター トライ東

「 ヤングセミナーについてご紹介 」

トライ東では宇都宮市に在住または在勤・在学の高校生～35歳までの方を対象に“ヤングセミナー”を開催しております。内容としては、季節のスイーツ・日常で役立つ家庭料理・おしゃれなカフェごはん・多国籍料理などの料理セミナーや、テニス・ZUMBA・ボクササイズ・ピラティス・ヨガなど体を動かすものなど多岐にわたります。他にも資産運用や英会話、流行りのパーソナルカラー診断、メイク講座などと学びを深めることがで



きるセミナーもご用意しております。宇都宮市の指定管理としての運営ですので、比較的安価で受講できるのも嬉しいポイントです。受講生は同世代の方がほとんどですので、回数を重ねるうちに徐々に仲良くなり、セミナーが終わるころには「今度、食事に行きましょう♪」と楽しそうにお話しをされている姿も多く見受けられます。お友だちづくりに・・・、お仕事終わりのリフレッシュに・・・、ぜひご活用ください!

とちぎYMCA大会2021を開催しました!

2022年2月11日(金)、「とちぎYMCA大会2021」が開催されました。このとちぎYMCA大会2021は会員総会のニュアンスを持ちます。今年度は新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、初の試みではありましたが完全オンライン形式(WEB会議ツール:zoom)にて実施いたしました。参加者は100名を超え、多くの方々にご参加いただくことができました。

今回はとちぎYMCA内6つの事業・拠点から8つの報告を準備いたしました。

チャイルドケアより認定こども園さくらんぼ幼稚園、指定管理より宇都宮市子どもの家事業・宇都宮市青少年活動センター、ユース育成よりInstagram・高校生ボランティアグループつぼみ・第52回全国YMCAリーダー研修会、高齢者支援よりマイホームきよはら、国際交流の以上8つのブレイクアウトルームを作り、参加者自身が自由に出入りのできる“出店”のような感覚でそれぞれの発表を聴いていただきました。チャット機能や、リアクションボタンを活用し、発表者と参加者がコミュニケーションをとる場面も見受けられました。それぞれの発表の中で社会の「いま」を見つめ、参加者の皆さまから貴重なご意見・ご感想を頂くことで世の中ととちぎYMCAが「よくなっていく」ための機会となりました。今回の大会の趣旨は会員総会のニュアンスを持ちながらも、会員の方だけでなくとちぎYMCAの各事業所につながる多くの方々にご参加頂けたことで、多岐にわたる活動に触れていただけたと感じております。

これからもとちぎYMCAは、皆さまとのつながりを大切に共に歩んでまいります。ご参加いただきありがとうございます。



見逃し配信も準備しています。YouTubeで「とちぎYMCA大会2021」とご検索を!!!

【報告一覧】

- ① **チャイルドケア (認定こども園さくらんぼ幼稚園より)**
— 未来に羽ばたく子どもたちへ ～認定こども園さくらんぼ幼稚園の保育～ —
- ② **アフタースクール (宇都宮市子どもの家事業より)**
— YMCAが子どもの家の指定管理を受けて —
- ③ **ユース育成 (青少年育成担当スタッフより)**
— なぜとちぎYMCAのユースインスタは日本のYMCAのなかでフォロワーNo.1なのか? —
- ④ **地域支援・ユース育成 (高校生ボランティアグループつぼみ所属リーダーより)**
— 高校生ボランティアグループ「つぼみ」の歩みとこれから —
- ⑤ **指定管理 (宇都宮市青少年活動センタートライ東より)**
— 指定管理としてのYMCA トライ東を知ってみよう! —
- ⑥ **ユース育成 (第52回全国YMCAリーダー研修会より)**
— 全国YMCAリーダー研修会から見た、私たちが答えなき問いを共有する必要性 —
- ⑦ **高齢者支援 (マイホームきよはらより)**
— 「技能実習生の1日を大公開」 ～タムさんがなんでも答えます!!～ —
- ⑧ **国際交流 (国際プログラム担当スタッフより)**
— 【報告】この2年間の国際活動 / 【ディスカッション】「チョコ・プラ」を考えてみよう! —



第52回全国YMCAリーダー研修会報告 Negative capability × X = Positive Well-being

リーダーたちの「答えなき問いを生きる。」③

第52回全国YMCAリーダー研修会を通して答えなき問いをたくさん手に入れたリーダーたち。ここでは過去を振り返り、今を見つめ、未来を想像しているユースたちの声を全国YMCAリーダー研修会参加報告と共に掲載していきます。

私はこれまで「子どもたちにとって、YMCAにとって良いリーダーでありたい」という想いを持って、活動に取り組んできました。良いリーダーの条件はたくさんあると思いますが、私の中でなんでもできるような完璧なリーダーが良いリーダーだと思っていました。しかし、私は未熟な部分やできないことが多くあり、完璧なリーダーには程遠く、もともとのネガティブな性格から活動後は反省ばかりで他のリーダーと比べて落ち込んでばかりでした。また、そんなネガティブでダメな自分もあまり好きではありませんでした。

今回の全国リーダー研修会で、「Negative capability × X = Positive well-being」というテーマのもとグループで話し合ったり、お話を聞いたりする中で、濱野さんの「余白力」という言葉がとても印象に残っています。完璧なリーダーのいるチームよりも不得意なことのあるリーダー、つまり余白力を持つリーダーのいるチームの方が良いチームになるというお話は、上記のように考えていた自分にとってとても衝撃的でした。もちろん、良いリーダーになるために向上心を持ち続けることは必要ですが、完璧でないからといって自分を嫌いになったり落ち込んだりするべきでは無いのだと考え直すことが出来ました。また、濱野さんのお話を聞いて、できない自分も少し肯定することができるようになり、全国リーダー研修会の後の活動はいつもよりも緊張せず、前向きなリラックスした気持ちで望むことができました。

全国リーダー研修会で他県のリーダーやゲストスピーカーの方など様々な方々との出会いから、自分とは違ういろいろな考え方や想いに触れることができ、大きな学びを得たと思います。残り少ないYMCA活動と春からの教員生活で自分の学んだことを活かすことができるよう、また、子どもたちにも伝えていくことができるように努めていきたいです。そして、落ち込んでしまったり壁にぶつかったりしてしまったりした際には今回のことを思い出して、できない自分も受け入れながら、頑張っていきたいと思います。

白鷗大学4年 茨城 安里 (らっきい)



今回の全国YMCAリーダー研修会のテーマである、Negative capability × X = Positive Well-beingにおいて、Xを求めることが研修会のゴールでした。ですが、私はまだそのゴールテープを切れていません。これからの私の人生の中で、Xについて考えること、他の人の考えを知ること、考えを誰かと共有することを通して、いつの日か自信をもってゴールテープを切りたいです。

約60名のリーダーが参加して、4名の方の講演を聞き、1か月半のグループディスカッションを通して、Xを求めました。同じ話を聞いたはずなのに、考えることは一人ひとり異なり、最終発表では全てのグループが違うXにたどり着きました。本当に、人はみんな違うのだと実感しました。一人ひとり違うからこそ、1つのXを求めることはとても難しく、とてもおもしろかったです。この研修会に参加して、講演者の方も含め多くの人との出会いは、私の考えや経験を豊かにして、次なる一歩を後押しする支えにもなりました。これからまたXを求めて歩き続けていこうと思います。

宇都宮大学4年 古谷 真菜 (まなびん)

国際理解クイズ<児童労働>

国際理解クイズ<児童労働>

初めに、生産物・生産地あてクイズです。

A. スリランカの地名「ディンブラ」「ウバ」「ヌワラエリヤ」は、ある産物で有名な原産地です。産物とは何でしょうか？

1. 紅茶 2. 魚 3. 塩

B. パキスタンの都市「シアルコート」はあるモノの生産地で、それは手作りの高い技術で作られます。何でしょうか？

1. 食器 2. サッカーボール 3. じゅうたん

C. 商品作物としての綿花栽培の農家が多く、繊維産業にかかわる人が多い国です。綿花栽培面積が世界最大のこの国はどこでしょうか？

1. インド 2. エジプト 3. アメリカ

【答え】A. 1. B. 2. C. 1.



上記のクイズに出てくる産物は多くの児童が労働に関わり生産されているものです。

「児童労働」とは、義務教育を妨げる労働や法律で禁止されている18才未満の危険・有害な労働のことです。家庭が貧しく教育の機会が失われれば、将来まともな職に就けず、「負」の連鎖を起こす可能性も出てきます。

3つの「児童労働」のケースを紹介します。

スリランカのサディスは13才。家族と共に紅茶農園に住んでいる。父親は手術後で働けない。義母は手術の治療費を払いながら働くが貧しい。妹たち家族を支えるためサディスは学校を休み農園で働く。この農園には同じように働く子どもが多い。

「私は朝7時から夕方5時までボールを縫う仕事をしていました。1つのボールを縫うと5ルピー(約15円)もらえました。縫う時、手に針を刺してしまい、とても痛かったです。勉強をしたかったけど、病気の母を看病している父に『学校に行かせてほしい』とは言えませんでした。(インドのソニアさん)

インドとパキスタンでは手縫いのサッカーボール生産に多くの児童労働が関わっています。パキスタンのシアルコートはサッカーボール生産が世界一です。

インドの綿花畑。シャンティは5才から働きはじめた。日給70ルピー(約189円)。畑では農薬が使用され皮膚病と貧血体質になりました。その後、血液がんが原因で15才の時帰らぬ人となりました。

児童労働の原因の1つに「貧困」があります。家計を助けるため低賃金でも学校に行かずに大人と同じような過酷な労働をします。この問題を解決するためには、教育の重要性を理解する家族や地域、国の支援が必要です。また、労働には適切な賃金が支払われること、労働環境を改善するための法律の整備など、様々な課題があります。生産者と消費者が対等な立場で行う貿易「フェアトレード」は問題解決につながるシステムの一つですね。

【参考：ACE、国際労働機関 (ILO)、他】

月刊#(ハッシュタグ)



第11回 #なにそれなにそれ

とちぎYMCA総主事
塩澤 達俊

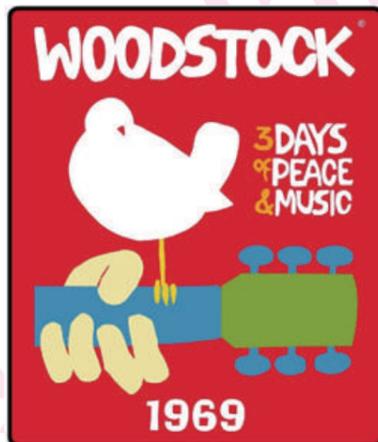
#《とちぎYMCAエキシビジョン・An Exhibition of Tochigi YMCA 2021》
#心理的安全性#ウッドストック・フェスティバル1969#ジミ・ヘンドリクス
#ジャニス・ジョプリン

これでイーンじゃないか。むしろ、これがイーンじゃないか!
そう確信した《とちぎYMCAエキシビジョン・An Exhibition of Tochigi YMCA 2021・2/11》(旧とちぎYMCA大会)でした。

ところで、子どもの頃からウッドストックがなぜ好きでした。スヌーピーのではなくジミ・ヘンドリクスやジャニス・ジョプリン、グレイトフル・デッドなどがステージにいた《フリーコンサート・愛と平和と音楽の3日間》のウッドストック・フェスティバルです。

40万人の若者が“愛と平和と自由”を求めて権威主義と既成概念、そして当時のソーシャル・イシュー(ベトナム戦争、徴兵による若者の惨死、人種やジェンダー、マイノリティ差別など)に彼らなりのやり方(今ではちょっと問題アリでしたが^^;)の意思表示したイベントです。

変わらないもの=真実は時空を超えて確かに存在します。



第1回《とちぎYMCAエキシビジョン・An of Tochigi YMCA 2021》と《ウッドストック・フェスティバル・Woodstock Music and Art Festival 1969》には確かな“地続き”を感じさせる一つの真実がありました。

それは、Fearlessな(恐れるもの無い)自己肯定感や相互の信頼関係に裏打ちされた心理的安全性にあふれた

「場」にこそ、ポジティブなエネルギーは磁場として開花する!です。

ZOOMでしたが、それらを余すところなく表現していただいた第1回《とちぎYMCAエキシビジョン・An of Tochigi YMCA 2021》すべてのみなさまに心から感謝を申し上げます!

YMCAは(サミュエル・ウルマンの銘詩『青年賦』を引くまでもなく)心に青雲の志と青年性・エバーグリーン・新しい皮袋を持つヒトは誰でもヤング・メン!のオープンなコミュニティですので、ますます、たくさんの方々とFearlessな場を作ってゆきたいと思います。謝辞!

information とちぎYMCAの予定

2022年3月の予定

3月4日	ウエルネスプログラム新規募集(メンバー)
3月11日	ウエルネスプログラム新規募集(ビジター)
3月15日	さくらんぼ幼稚園 卒園式
3月19日-20日	那須シュプールスキーキャンプ
3月26日	第2回とちぎYMCAサッカー大会
3月28日-30日	春らんまん3Days
3月30日-31日	新1年生チャレンジキャンプ

2022年4月の予定

4月4日	チョイス①【アクティブ編】
4月5日	チョイス②【乗り物編】
4月9日(予定)	さくらんぼ幼稚園 入園式



とちぎYMCAの日常をご覧ください。

instagramもはじめました!
tochigi_ymca

